

北海道介護福祉学校 公開講座

# ハンセン病問題について考える

～その歴史と現状から私たちが学ぶこと～

**令和5年10月10日(火)**

18時～20時(受付17時30分～)

**定員120名**

**先着  
事前申込制**

**場所:栗山町カルチャープラザ  
Eki(多目的ホール)**

## 内容

- ハンセン病問題の概要  
(歴史と現状)
- 差別の実態と当事者の思い
- 当事者の尊厳を守るとは

## 講師

国立ハンセン病資料館

**西浦 直子氏**

【略歴】新潟県生まれ

1999年東京学芸大学大学院教育学研究科  
修士課程修了。

2002年より学芸員としてハンセン病問題に  
関する展示・講演などの啓発活動に携わる。

## Qハンセン病とは

ハンセン病は「らい菌」という細菌に感染することで引き起こされる感染症の一種です。かつては、「癩」(らい)と呼ばれていましたが、差別的なイメージがつきまとうことから、現在は、らい菌を発見したアルマウル・ハンセンにちなんで「ハンセン病」と呼ばれています。「らい菌」自体の感染力は弱く、感染したとしても発病することは極めてまれで、しかも、万一発病しても、現在では治療法も確立し、早期発見と適切な治療により後遺症も残りません。

## Qハンセン病問題とは

ハンセン病問題とは、近代以降の国の間違ったハンセン病対策が原因で、患者、回復者およびその家族の方々の人権が侵害され、はなはだしい偏見差別にさらされた人権問題です。現在もハンセン病に対する正しい知識と理解は、いまだ十分とはいえない状況にあります。ハンセン病にかかった患者・元患者やその家族が、周囲の人々の誤った知識や偏見によって、日常生活、職場、医療現場等で差別やプライバシー侵害等を受ける問題が起きています。

## 申込方法

右記QRから、もしくは参加申込書を  
メールかFAXにてお送りください



E-mail : h-kaigofukushi@town. kuriyama.hokkaido.jp

FAX : 0123-72-6140

北海道介護福祉学校

〒069-1508 夕張郡栗山町字湯地60番地

TEL.0123-72-6060